



2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月15日

上場会社名 アスкул株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/corp/investor/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 成松 岳志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 玉井 継尋 (TEL) 03-4330-5130
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年5月期第1四半期の連結業績(2026年5月21日～2026年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	112,345	△8.2	△418	—	△452	—	△508	—
2026年5月期第1四半期	122,324	3.3	1,053	△59.1	938	△62.6	344	△77.7

(注) 包括利益 2027年5月期第1四半期 △412百万円(—%) 2026年5月期第1四半期 426百万円(△73.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	△5.68	—
2026年5月期第1四半期	3.73	3.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	219,920	50,160	21.1
2026年5月期	229,907	51,455	20.8

(参考) 自己資本 2027年5月期第1四半期 46,379百万円 2026年5月期 47,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年5月期	—	—	—	—	—
2027年5月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年5月期の連結業績予想(2026年5月21日～2027年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	490,000	22.4	7,000	—	6,300	—	4,000	44.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年5月期1Q	89,771,300株	2026年5月期	89,771,300株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年5月期1Q	238,228株	2026年5月期	237,728株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年5月期1Q	89,533,259株	2026年5月期1Q	92,408,211株
------------	-------------	------------	-------------

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
販売費及び一般管理費の明細（連結）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間（2026年 5 月 21 日から 2026年 8 月 20 日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下でインバウンド需要の増加等もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方、中東情勢をはじめとする不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰に加え、金利上昇や円安のさらなる進行、アメリカの通商政策の動向による影響等も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2025年10月19日に発生した当社を標的としたランサムウェア攻撃からの早期のサービスレベル復旧を果たし、2025年 7 月に公表しました中期経営計画（2026年 5 月期～2029年 5 月期）の目標達成に向けて、リテール事業の再成長と新たな価値提供領域の確立を掲げ施策を進めております。

2027年 5 月期は、成長再加速の起点の年度と位置づけ、お客様数の回復に向けて、A I を活用した担当販売店への営業支援・パーソナライズ販促等を推進するとともに、物流拠点再編や全社横断での業務効率化による固定費圧縮をはじめとする収益構造の改善を進めております。

当第 1 四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,123億45百万円（前年同期比8.2%減）、営業損失4億18百万円（前年同期は営業利益10億53百万円）、経常損失4億52百万円（前年同期は経常利益9億38百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5億8百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

<eコマース事業>

（単位：百万円）

	前第 1 四半期 連結累計期間	当第 1 四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	120,249	110,700	△9,548	△7.9%
ASKUL事業	91,003	79,898	△11,105	△12.2%
LOHACO事業	10,100	8,862	△1,238	△12.3%
グループ会社・内部取引消去	19,145	21,939	+2,794	+14.6%
営業利益又は営業損失（△）	1,064	△393	△1,458	—

（注）売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

当第 1 四半期連結累計期間のeコマース事業については、売上高は1,107億円（前年同期比7.9%減）と、期初計画通りではありますが、ランサムウェア攻撃前の売上水準まで回復するには至らず、また前年同期に計上した一過性費用がなくなったものの、前期に実施した売上回復を目的とする価格施策の影響により売上総利益率が低下し、営業損失は3億93百万円（前年同期は営業利益10億64百万円）となり、減収減益となりました。

売上高、営業損失の状況は、主に以下のとおりです。

①売上高

a. ASKUL事業

- ・ランサムウェア攻撃を受けてからの売上回復途上であることに加えて、前年同期の猛暑の反動により季節商材（飲料、食品、熱中症対策商品など）が伸びず、また前第 4 四半期連結会計期間に中東情勢の影響による特需があったことの反動もあり、前年同期比12.2%の減少
- ・中小事業所のお客様数は回復途上であるものの、中堅大企業はランサムウェア攻撃前に近い水準まで回復

b. LOHACO事業

- ・ASKUL事業と同様、猛暑の影響に加え、前年同期は備蓄米の販売があったことの反動により、前年同期比12.3%の減少

c. グループ会社・内部取引消去

- ・株式会社アルファパーチェスおよびフィード株式会社の売上高が堅調に推移し、前年同期比14.6%の伸長

②営業損失

営業損失は、3億93百万円（前年同期は営業利益10億64百万円）となりました。前年同期の一過性の費用がな

くなったこと等により、販管費比率が前年同期比で0.3ポイント改善して23.7%となる一方、売上総利益率が23.3%と前年同期比で1.5ポイント低下したことによるものであり、内容は以下のとおりです。

- ・売上回復を推進した結果、前期に実施した価格施策の影響を当第1四半期連結累計期間も受けたため、売上総利益率が低下
- ・前年同期に計上した「ASKUL関東DC」立ち上げ費用をはじめとする一過性費用の計上がなくなったこと等の影響により、減収にもかかわらず販管費比率が改善

<ロジスティクス事業>

ASKUL LOGIST株式会社の当社グループ外の物流業務受託の売上高は、業務受託契約の一部見直しがあったこと等により、減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億20百万円（前年同期比25.7%減）、営業損失は53百万円（前年同期は営業損失33百万円）となっております。

<その他>

前年同期の猛暑の反動により、嬌恋銘水株式会社での飲料水の販売が主にアスクル向けで伸び悩み、減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5億9百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は13百万円（前年同期比27.0%減）となっております。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,199億20百万円となり、前連結会計年度末と比べ99億87百万円減少いたしました。これは主に、ソフトウェアが11億円増加した一方、現金及び預金が44億12百万円、流動資産その他に含まれる未収消費税等が41億76百万円、ソフトウェア仮勘定が16億75百万円、リース資産が10億50百万円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,697億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ86億91百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が31億4百万円、未払金が27億59百万円、支払手形及び買掛金が21億36百万円、リース債務が11億2百万円減少したことによるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は501億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億95百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払いが8億95百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上が5億8百万円あったことにより、利益剰余金が14億3百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は21.1%（前連結会計年度末は20.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月3日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,332	44,920
受取手形、売掛金及び契約資産	54,503	53,461
商品及び製品	24,402	24,718
原材料及び貯蔵品	420	226
未成工事支出金	43	114
未収入金	13,932	14,585
その他	7,383	3,380
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	150,005	141,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,414	14,117
減価償却累計額	△6,167	△6,357
建物及び構築物（純額）	7,246	7,760
土地	257	257
リース資産	40,656	40,643
減価償却累計額	△17,701	△18,739
リース資産（純額）	22,954	21,903
建設仮勘定	290	154
その他	13,414	13,724
減価償却累計額	△9,153	△9,474
その他（純額）	4,261	4,249
有形固定資産合計	35,011	34,325
無形固定資産		
ソフトウェア	14,912	16,012
ソフトウェア仮勘定	3,308	1,632
のれん	722	663
顧客関連資産	5,199	5,094
その他	10	10
無形固定資産合計	24,152	23,413
投資その他の資産		
投資有価証券	487	487
繰延税金資産	12,994	13,480
その他	7,940	7,505
貸倒引当金	△685	△685
投資その他の資産合計	20,738	20,788
固定資産合計	79,902	78,527
資産合計	229,907	219,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,204	55,067
電子記録債務	19,275	16,171
短期借入金	27,280	27,875
1年内返済予定の長期借入金	4,374	4,549
未払金	15,118	12,358
未払法人税等	448	605
未払消費税等	150	596
引当金	436	547
その他	7,509	7,386
流動負債合計	131,796	125,157
固定負債		
長期借入金	13,360	12,548
リース債務	20,917	19,802
退職給付に係る負債	4,831	4,895
資産除去債務	3,190	3,190
繰延税金負債	1,816	1,781
その他	2,539	2,384
固定負債合計	46,655	44,602
負債合計	178,452	169,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,233	21,233
資本剰余金	14,830	14,834
利益剰余金	11,670	10,267
自己株式	△362	△362
株主資本合計	47,372	45,973
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	3	3
退職給付に係る調整累計額	429	402
その他の包括利益累計額合計	432	406
非支配株主持分	3,650	3,780
純資産合計	51,455	50,160
負債純資産合計	229,907	219,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月21日 至 2026年8月20日)
売上高	122,324	112,345
売上原価	92,011	86,173
売上総利益	30,312	26,171
販売費及び一般管理費	29,258	26,590
営業利益又は営業損失(△)	1,053	△418
営業外収益		
受取利息	56	23
助成金収入	4	1
保険配当金	20	21
システム障害対応費用戻入額	-	88
その他	14	48
営業外収益合計	95	183
営業外費用		
支払利息	157	189
その他	53	27
営業外費用合計	210	216
経常利益又は経常損失(△)	938	△452
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	0	-
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	4	22
その他	0	0
特別損失合計	4	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	935	△474
法人税、住民税及び事業税	311	418
法人税等調整額	185	△507
法人税等合計	497	△88
四半期純利益又は四半期純損失(△)	438	△386
非支配株主に帰属する四半期純利益	94	122
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	344	△508

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月21日 至 2026年8月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	438	△386
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	-	0
退職給付に係る調整額	△12	△26
その他の包括利益合計	△12	△26
四半期包括利益	426	△412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332	△534
非支配株主に係る四半期包括利益	94	122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	91,002	—	91,002	—	91,002	—	91,002
LOHACO事業	10,100	—	10,100	—	10,100	—	10,100
グループ会社 ・内部取引消去	19,144	—	19,144	—	19,144	—	19,144
ロジスティクス事業	—	1,912	1,912	—	1,912	—	1,912
その他	—	—	—	163	163	—	163
顧客との契約から 生じる収益	120,248	1,912	122,160	163	122,324	—	122,324
外部顧客への売上高	120,248	1,912	122,160	163	122,324	—	122,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	377	378	△378	—
計	120,249	1,912	122,161	540	122,702	△378	122,324
セグメント利益 又は損失(△)	1,064	△33	1,031	18	1,049	3	1,053

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、セグメント間取引消去3百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年5月21日 至 2026年8月20日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	79,897	—	79,897	—	79,897	—	79,897
LOHACO事業	8,862	—	8,862	—	8,862	—	8,862
グループ会社 ・内部取引消去	21,939	—	21,939	—	21,939	—	21,939
ロジスティクス事業	—	1,420	1,420	—	1,420	—	1,420
その他	—	—	—	225	225	—	225
顧客との契約から 生じる収益	110,699	1,420	112,120	225	112,345	—	112,345
外部顧客への売上高	110,699	1,420	112,120	225	112,345	—	112,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	284	285	△285	—
計	110,700	1,420	112,120	509	112,630	△285	112,345
セグメント利益 又は損失（△）	△393	△53	△447	13	△433	14	△418

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額14百万円は、セグメント間取引消去14百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんおよび顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額および顧客関連資産償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月21日 至 2026年8月20日)
減価償却費	3,062百万円	3,182百万円
のれんの償却額	139	59
顧客関連資産償却費	130	104

3. その他

販売費及び一般管理費の明細(連結)

科目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年8月20日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年5月21日 至 2026年8月20日)			(参考) 前期 2026年5月期 (自 2025年5月21日 至 2026年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費	7,037	5.8	6,640	5.9	94.4	26,273	6.6
配送運賃	6,010	4.9	5,836	5.2	97.1	20,968	5.2
業務外注費	1,652	1.4	1,548	1.4	93.7	7,204	1.8
業務委託費 ※1	3,066	2.5	2,405	2.1	78.4	10,615	2.7
地代家賃	3,206	2.6	3,089	2.8	96.4	13,251	3.3
貸倒引当金繰入額	△3	△0.0	0	0.0	-	18	0.0
減価償却費	1,539	1.3	1,491	1.3	96.9	5,210	1.3
ソフトウェア償却費 ※2	1,391	1.1	1,591	1.4	114.4	5,643	1.4
その他諸経費 ※3	5,357	4.4	3,987	3.5	74.4	17,572	4.4
合 計	29,258	23.9	26,590	23.7	90.9	106,758	26.7

※1 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の業務委託費が減少しておりますが、主な要因は、売上高の減少に伴い、物流センター内の業務に係る費用が減少したことによる影響であります。

※2 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間のソフトウェア償却費が増加しておりますが、主な要因は、2025年8月の基幹システムリプレイスに伴う影響であります。

※3 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間のその他諸経費が減少しておりますが、主な要因は、「ASKUL関東DC」稼働に伴う費用発生およびASKUL事業におけるカタログ新規発行が前年同期にあったことによる影響であります。